

第一朗読 (民数記6章22-27節)

22 主はモーセに仰せになった。
23 アロンとその子らに言いなさい。

あなたたちはイスラエルの人々を祝福して、次のように言いなさい。

24 主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

25 主が御顔を向けてあなたを照らし

あなたに恵みを与えられるように。

26 主が御顔をあなたに向けて

あなたに平安を賜るように。

27 彼らがわたしの名をイスラエルの人々の上に置くとき、わたしは彼らを祝福するのであらう。

第二朗読 (ガラテヤ4章4-7節)

4 しかし、時が満ちると、神は、その御子を女から、しかも律法の下に生まれた者としてお遣わしになりました。5 それは、律法の支配下にある者を贖い出して、わたしたちを神の子となさるためでした。6 あなたがたが子であることは、神が、「アッバ、父よ」と叫ぶ

御子の霊を、わたしたちの心に送ってくださった事実から分かります。7 ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、子です。子であれば、神によって立てられた相続人でもあるのです。

福音 (ルカ2章16-21節)

15 天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。

16 そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てる。17 その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。18 聞いた者は皆、羊飼いたちの話を不思議に思った。19 しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。20 羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。21 八日たって割礼の日を迎えたとき、幼子はイエスと名付けられた。これは、胎内に宿る前に天使から示された名である。

朗読から 祈りへ

—主が祝福する—

一月一日は神の母聖マリアの祭日。この日、世界の教会は平和を祈願する。教皇パウロ六世の呼びかけによって一九六八年の新年から「世界平和の日」が始まった。まず、わたしたちは主がわたしたちを祝福し、わたしたちを守ってくださるよう、主の祝福を求め、主がわたしたちを照らし、わたしたちに恵みを与えてくださるよう祈る。主がわたしたちに目をとめ、わたしたちに平安をくださるよう求める。

聖母マリアは主のお告げを受けた後、エリサベトを訪問した時に主を讃えて言った。「身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださった。今から後、いつの世の人もわたしを幸いな者と言うでしょう。わたしたちの先祖におつしやうたとおり、アブラハムとその子孫に対してとこしえに」。今日の民数記のことばはまさにマリアに実現した主の祝福であり、その祝福はわたしたち主を信じる者の上にも注がれる。年の初めにわたしたちがまずすること。それは、主の祝福を願うこと。

—お父さん、と呼ぶ—

答唱詩編で「神のみ旨を行うことは、わたしのこころの喜び」と歌う。第一朗読の民数記の言葉への答え。主の祝福に対してわたしたちは讚美の言葉を返す。主の祝福を受けたわたしたちは、主の望みがこの世界に実現することを求める。主を父としてあがめ、その望みがかなうように子として願う。子の願いは父の願いと重なる。「救いがすべての国に知られるように」と。

神は律法の支配下にあるわたしたちを一人の女性を通して生まれる御子によって贖い出してくださいました。神の母聖マリアによってわたしたちは神の子と呼ばれる。わたしたちは神の子である。

「アッパ」はイエスがゲツセマネの苦悩の中で神に呼びかけた言葉。ここに父と子の関係を見ることが出来る。この父と子からわたしたちも「アッパ」と呼ぶことができる霊の力を心にいただいた。わたしたちは、神に向かつて「パパ、父ちゃん、お父さん」と親しく呼びかけることができる。神はわたしたちの主であり、アッパである。聖母マリアはアッパの望みどおりになるようにと返答した。

—天使の話したとおり—

巷ではクリスマスの準備を早くから始める。そして二十五日になった途端に新年の準備に取りかかる。教会は「まだ」クリスマスを祝い続ける。巷でのクリスマスと教会のクリスマスは、その意味がますますかけ離れていく。教会は「主の降誕」を祝い続ける。

羊飼いたちに告げた天使の話とは何か。「飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子。それが救い主のしるし」。羊飼いたちはその話を不思議に思った。羊飼いたちはその光景のしるしの意味がわかった。というより信じた。飼い葉桶の乳飲み子。それが救い主。だから神をあがめ、讚美する。

聖母マリアは思い巡らす。この乳飲み子に将来起こることを。この子がどのような死に方をするかを……。この子がその生涯を終えたときにすべてが明らかになることを。

この子は苦しみを受け、十字架上で殺され三日後に復活する。そのときすべてが明らかになる。飼い葉桶に寝かされたイエス。それは十字架の上のイエスと重なる。無力な人間の姿。自身を食べ物とするほど、すべてを与え尽くす。差し出すことが人を救う。